

●日本スペリア社

R&Dセンター設立

マレーシアでサポート充実

(株)日本スペリア社(大阪府吹田市江坂町1-16-15、☎06-6380-1

121)は、マレーシアの現地法人NSマレーシア(NSM)の工場敷地内に「NSマレーシアR&Dセンター」を設立した。東南

アジア地域での研究開発の促進や、顧客への技術サポートの充実を図る。

同社の海外研究拠点はオーストラリアの「NSC MEM」に続く2拠点目。NSMに新設したR&Dセンターは工場1階スペース

西村社長(右)とザヒ氏



の一部を改装し、走査型電子顕微鏡(SEM)、高周波誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP)などの最新機器を設置した。当初はNSM社員の3人体制でスタートし、近く同社と共同研究を行うマレーシアペリス大学(ユニマップ)の修士院生1人が研修スタッ

ートでそれに迅速に 대응する」とR&Dセンターの役割を強調。来賓のペラ州政府のワイビー・タトール・ザヒ氏は、同社のマレーシア経済への貢献や日本とマレーシアの友好関係強化への期待などを述べた。

フに加わる予定だ。9月14日の開所式では西村哲郎社長が挨拶のなかで「お客様のニーズをよく理解し、製品開発や技術サポ

日本や欧米企業が製造拠点を東南アジアへ移す動きが加速化するとともに、同社でも現地の顧客が増加している。迅速な技術サポートや製品開発、生産技術や品質向上に取り組み拠点としてセンターの新設を決めた。また、同社は4月からユニマップと鉛フリーはんだに関する共同研究を行っており、その拠点としても活用する予定。